

日本のおかり文化

シンポジウム in 東京

今こそ日本のおかり文化を生かす～古灯器に学ぶ～



行灯(あんどん)は、世界最高紙である和紙を用いた傑作灯具(角行灯)です。

平成25年3月12日(火)

13:00～17:00

(受付開始:12:00～)

日本大学理工学部 駿河台キャンパス

1号館6階 CST ホール

(千代田区神田駿河台1-8-14 御茶ノ水駅徒歩5分)

参加費：一般 1,000円

学生 500円

プログラム

開会挨拶 (13:00～13:10)

日本のおかり文化調査委員会 委員長 染谷彰

第1部 基調講演 (13:15～15:55)

総論「素晴らしい日本のおかりについて」

武蔵野美術大学 落合勉

講演「古灯器に親しむ」

照明文化研究会 副会長 坪内富士夫

講演「日本古燈器大観に見る日本の明り」 国立科学博物館 理工学研究部 前島正裕

<< 休憩 15分 >>

講演「シルクロードからのあかり」

照明文化研究会 会員 佐々木滋郎

講演「西洋人の見た灯りの歴史と日本の灯り

—The story of the lamp (and the candle) の考察— 江戸民具街道 秋澤傑

第2部 パネルディスカッション (16:00～16:45)

テーマ「古灯器に学ぶ～SSL時代の架け橋“新たなるあかり文化”の創造～」

予定パネラー 大谷義彦・落合勉・山家哲雄・海宝幸一

閉会挨拶 (16:50～17:00)

日本のおかり文化調査委員会 委員長 染谷彰

第3部 懇親会 (シンポジウム終了後、懇親会を予定しております。参加自由)